

2020年3月期
決算説明資料

株式会社ヨシックス
(証券コード：3221)

1.	会社概要	・・・・・・・・	1
2.	2020年3月期	決算概要	・・・・・・・・6
3.	2021年3月期	売上・利益計画	・・・・・・・・14
4.	今後の取り組み	・・・・・・・・	16
5.	トピックス	・・・・・・・・	30

会社概要

社名 株式会社ヨシックス

設立 1985年4月1日

所在地 愛知県名古屋市東区徳川町502番地

代表者 代表取締役会長兼CEO 吉岡昌成

資本金 335,894,000円 (2020年3月31日現在)

上場市場 東京証券取引所市場第一部
名古屋証券取引所市場第一部

店舗数 343店舗 (2020年3月31日現在)
▶ 直営 339店舗
▶ フランチャイズ (社員独立制度) 4店舗

【企業理念】

赤ちゃんからおじいちゃん、おばあちゃんまで楽しくすごせる
心・食・居を演出する

心・・・「心温まる」存在感を持つ企業
食・・・「元気」をお持ち帰りいただける企業
居・・・「居心地」の良さを提供、創造できる企業

【社是】

あたりまえやを当り前に

- ・元気な声だし
- ・清潔感
- ・笑顔の接客

【や台やグループ基本理念】

元気を持って帰ってもらう店なんやで

や台やグループは飲食業を通じて、社会における存在意識を常に考えています

直営店を中心に、**343**店舗の居酒屋を**関東以西**に展開
 自社店舗の建築を中心とした**建築事業**も手掛ける

や台ずし：248店舗（のれん分店3店舗含む）



本格職人
にぎりずし居酒屋



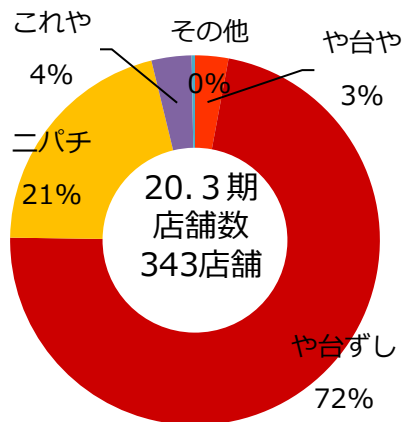
ニパチ（にぱち含む）：72店舗



280円均一
低価格居酒屋



業態別店舗数



(注)フランチャイズ4店舗含む

や台や：10店舗 （のれん分け店1店舗含む）

お好み焼き鉄板焼き居酒屋



これや：12店舗

大阪の味・串カツ居酒屋



その他：1店舗

せんと

建築事業部

店舗の設計・施工業

80年…ヨシオカ建装を創業、建装事業を開始

83年…ヨシオカ建装を設立

85年…テナガロンキッド設立
同年…ベストフードに社名変更

90年…ヨシックスに社名変更

98年…や台や1号店(名古屋市押切店)

00年…や台ずし1号店(名古屋市葵店)

02年…関東進出(や台ずし立川錦町店)

04年…関西進出(や台ずし寺田町店)

07年…九州進出(や台ずし夜店公園町)

07年…ヨシオカ建装を吸収合併

09年…二パチ1号店(埼玉県)

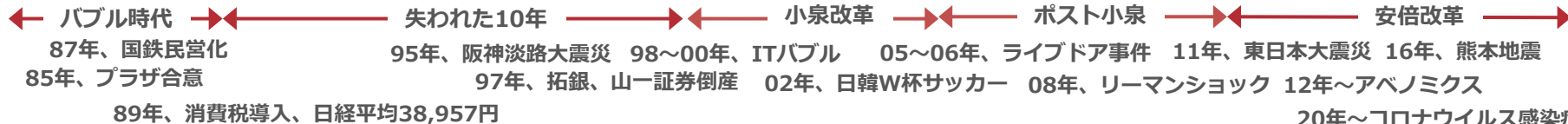
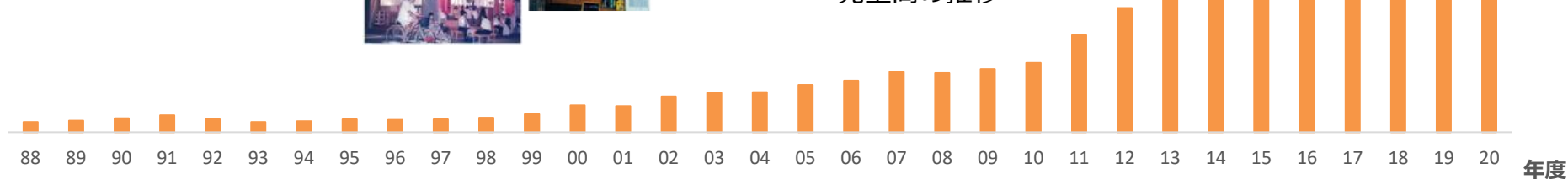
12年…山陽進出(や台ずし銀山町)

12年…せんと1号店(名古屋市)

16年…四国進出(や台ずし松山市駅前町)



売上高の推移



89年、消費税導入、日経平均38,957円

20年～コロナウイルス感染症拡大

2020年3月期 決算概要

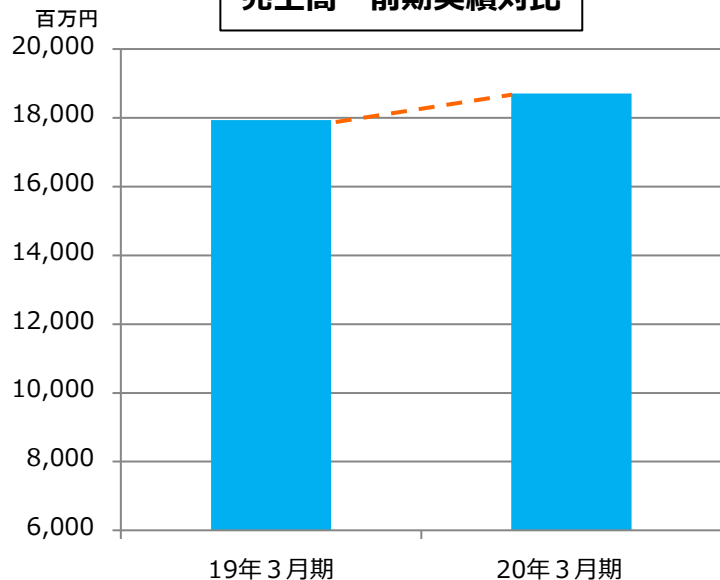
決算期末実績において過去最高を達成！

■ 20.3期売上高が 18,709百万円で過去最高売上高を達成

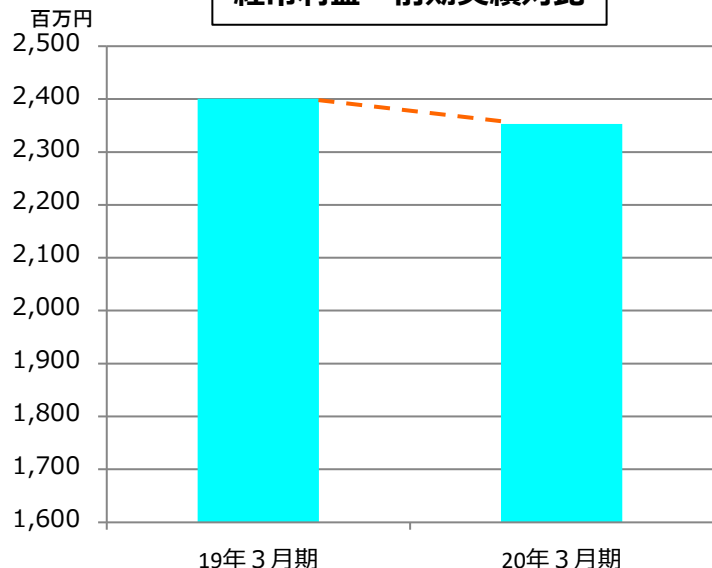
(単位：百万円)

	19年3月期		20年3月期 期末実績 (売上比)	20年3月期			
	期末 (売上比)	期末予想 (売上比)		前期比		予想比	
				差額	%	差額	%
売上高	17,934	19,060	18,709	775	104.3%	△ 351	98.2%
営業利益	2,083 (11.6%)	2,245 (11.8%)	2,036 (10.9%)	△ 47	97.7%	△ 209	90.7%
経常利益	2,401 (13.4%)	2,581 (13.5%)	2,353 (12.6%)	△ 48	98.0%	△ 228	91.2%
当期純利益	1,538 (8.6%)	1,648 (8.6%)	1,256 (6.7%)	△ 282	81.7%	△ 392	76.2%
1株当たり純利益	149.18円	156.63円	121.83円	△ 27.35	81.7%	△ 34.80	77.8%

売上高 前期実績対比



経常利益 前期実績対比



コメント

前期対比104.3%

【要因】

- ①「働き方改革」対応のため一部店舗に週休制を設けるとともに、他地域でも営業時間の短縮等も実施していることから、既存店対比で営業時間が減少した。
- ②梅雨の長期化、台風直撃等の天候要因による影響が大きかった。
- ③10月より消費増税が施行され、消費動向が鈍化した。
- ④事業年度終盤に発生したコロナウイルス感染症拡大により、歓送迎会シーズンの需要が取れなかった。
- ⑤コロナウイルス感染症に対する警戒感の高まりから、来店客数が激減した。

コメント

前期対比98.0%

【要因】

- ①店舗増加に伴い、店舗当たり負担する固定費の減少
- ②建築事業部を活用した新規出店のイニシャルコストの徹底的な抑制
- ③仕入の見直しによる原価低減
- ④広告宣伝をチラシ等からWEB媒体に変更したことによる費用削減
- ⑤コロナウイルス感染症拡大により売上高が激減したことから、採算が悪化した。

総資産合計が156百万円の増加

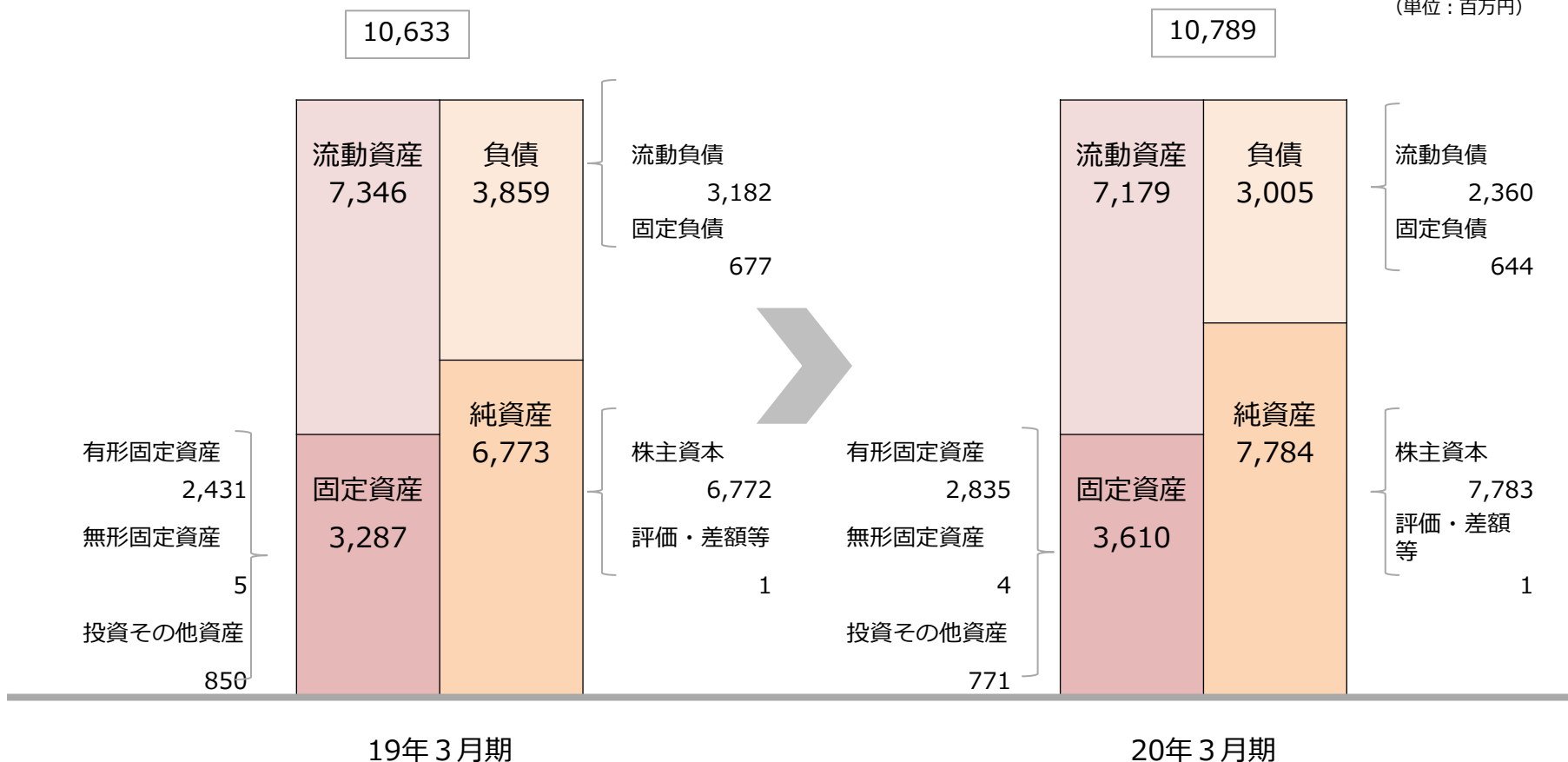
【流動資産】

- ▶ 前期末は金融機関休業日であり、当期末は金融機関営業日であったため、通常の支払等が発生したことから現預金が減少し流動資産が減少した。

【固定資産】

- ▶ 新規出店37店舗を実施したことに伴い有形固定資産が増加した。

(単位：百万円)



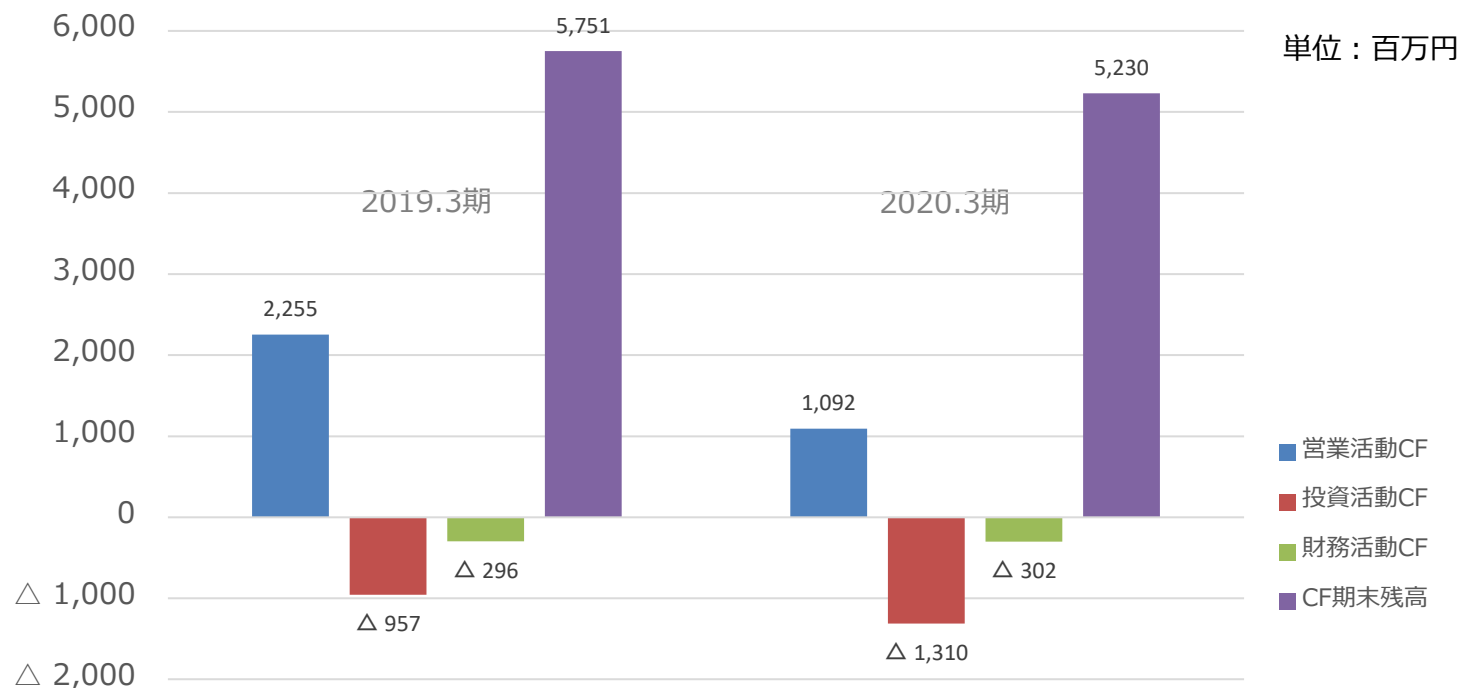
現金及び現金同等物の期末残高が520百万円減少

【営業活動CF】

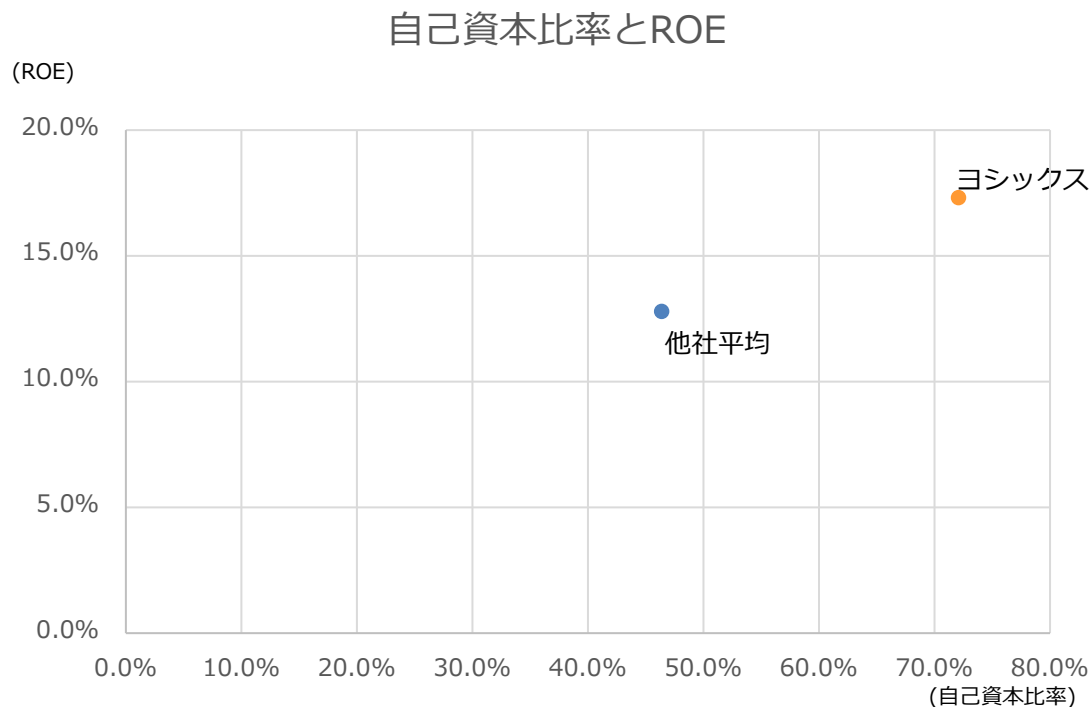
- ▶ 前期末は金融機関休業日であり、当期末は金融機関営業日であったため通常の支払債務が発生したことから営業活動によるキャッシュ・フローの収入が減少した。

【投資活動CF】

- ▶ 建物及び店舗設備への投資による支出が増加、定期預金の預入による支出の増加による投資活動によるキャッシュ・フローの支出が増加した。



20.3期の自己資本比率 72.1%、ROE 17.3%でともに高水準を維持

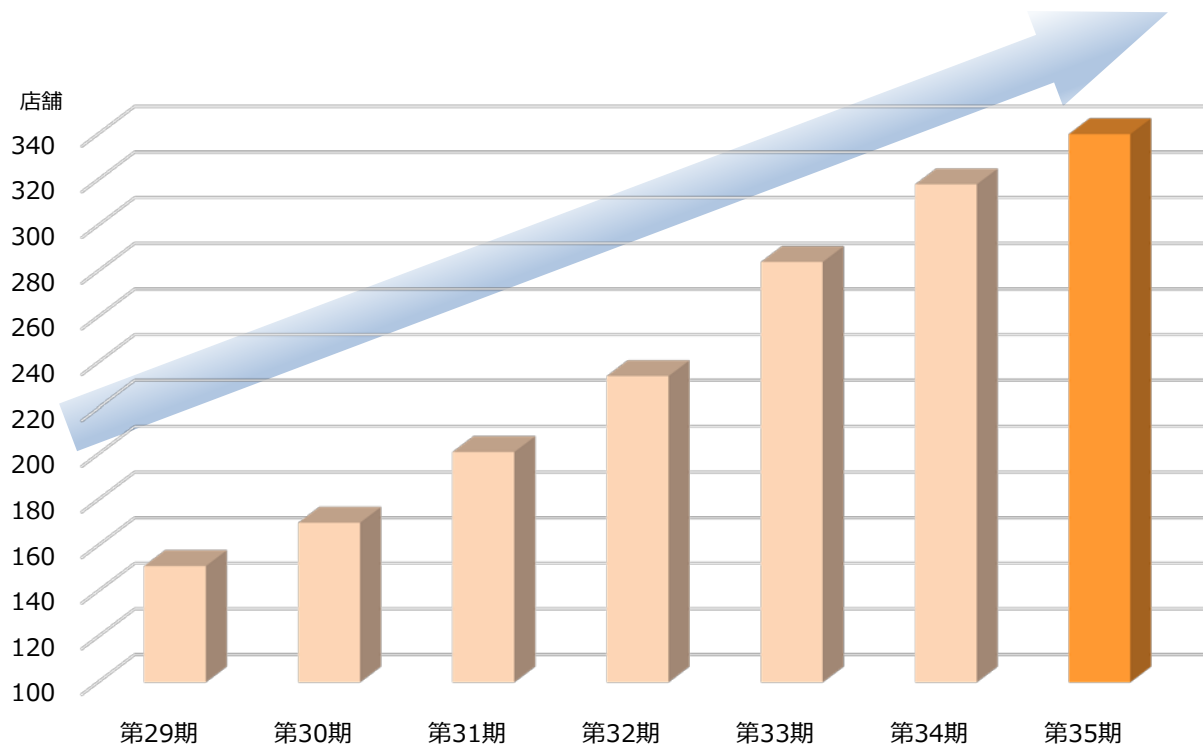


- 自己資本比率が高く、経営の安定度が非常に高い
- ROEも高く、自己資本を効率的に活用して高い経営力を誇っている
 - 新規出店を計画通りに進め、規模拡大・高い収益力の実現
 - 出店経費に関するコストの抑制や地代家賃に関するコストの抑制等
 - 業績不振店を抱えることなく、迅速な判断のもと業態転換や撤退を実施



高効率な経営

店舗数の推移



コメント

新規出店37店舗を実施
 「や台ずし」34店舗
 「にぱち」3店舗

- ・閉店撤退12店舗を実施
- ・「働き方改革」に伴う人材の効率的な活用のため、業績下位の店舗を閉店
- ・新規出店は今後も継続していく予定

毎年、右肩上がりで
店舗数増加

第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
151店	170店	201店	234店	284店	318店	343店

店舗名（仮称含む）	住所	オープン予定日
にぱち多治見駅前店	岐阜県多治見市本町2-22	2020/6/以降
や台ずし末広温泉町	鳥取県鳥取市末広温泉町356-2	2020/6/以降
や台ずし鳥栖町	佐賀県鳥栖市本通町1-810-16	2020/6/以降
や台ずし水戸中央郵便局前町	茨城県水戸市宮町2-11-27	2020/6/以降
や台ずし常盤平駅南口町	千葉県松戸市常盤平2-9-5	2020/6/以降
や台ずし南浦和駅東口町	埼玉県さいたま市南区南浦和2-38-7	2020/6/以降
や台ずし鶴瀬駅西口町	埼玉県富士見市大字鶴馬2616-1	2020/6/以降
や台ずしみずほ台駅西口町	埼玉県富士見市西みずほ台2-3-5	2020/6/以降
や台ずし岩倉駅東口町	愛知県岩倉市下本町下市場132-1	2020/6/以降
や台ずし高松鍛冶屋町	香川県高松市鍛冶屋町7-4	2020/6/以降
や台ずし飯塚バスターミナル町	福岡県飯塚市吉原町11-3	2020/6/以降
や台ずし東岸和田駅前町	大阪府岸和田市土生町4-3-1	2020/7/以降
にぱち津駅前店	三重県津市羽所町345	2020/9/以降

（注）物件契約済の案件を列挙しております。

2021年3月期 売上・利益計画

2021年3月期の業績予想につきましては、未定としております。

【業績予想を未定とした理由】

①新型コロナウイルス感染症の影響

- ・ 政府・自治体からの外出自粛要請を受けて4月5日から4月13日までの9日間につき全国の全直営店の休業を実施したこと
- ・ 4月7日に発令された「緊急事態宣言」がさらに全国一律に拡大されたことを受けて4月17日から5月7日まで全国の全直営店の休業を実施したこと

②「緊急事態宣言」の期間延長の可能性

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大はまだ予断を許さない状況にあり、「緊急事態宣言」の期間延長の可能性が高く、その際には直営店の休業を延長する可能性が高いため。

③新型コロナウイルス感染症の収束が見えない

- ・ 新型コロナウイルス感染症の収束が不明であり、合理的な見積りができないため。

④通常の日常に戻るか否か先行き不透明

- ・ 新型コロナウイルス感染症が収束したとしても、通常の日常に戻るか否かが不明であり合理的な見積りができないため。

今後の取り組み

わたくし達は、

3,000店舗、売上高1,800億円、

日本一の居酒屋チェーンを目指します！

【中期経営目標】

- ・ 500店舗
- ・ 売上高300億円

- ・ 事業部の確立
- ・ 「田舎戦略」、「老舗理論」及び「地域リスクヘッジ」の徹底
- ・ 既存店売上高を100%維持

- ・ 経常利益率10%超

- ・ 売上高家賃比率の7%台を維持
- ・ かけるコストを徹底し、かかるコストは削減
- ・ 建築事業部の有効活用

「田舎戦略」とは

- **年間を通して一定以上の安定的な居酒屋需要が見込める地域に**
 - 東海道、山陽、九州新幹線に隣接する市町村
 - 乗降客6千人以上の駅前かつ、**従業員の雇用が可能**な地域
 - 直営店を出店
- 「老舗理論」にもとづく30~40坪程度の中小型直営店舗を低コスト出店し
- 地元店、チェーン店と競合せずに地域一番店を目指す戦略



事業活動を通じ、**地域の発展・再生**にも貢献

- 大企業と個人店の**良いところ取り**をするとともに、
- 両者と競合しない隙間を突き、**地域一番店**へ

地域密着の安定的な利益

地元個人店・小型店の優位性

- 居心地の良さの演出
- 店舗で手作りする美味しさと暖かさ
- 客席が埋まりやすい中小型の店舗
- 現地雇用、現地調達

~~個店経営、家族経営~~
~~曖昧な価格設定、付け払い~~

効率性と規模の利益

チェーン店・大型店の優位性

- 気軽に来店できる明朗会計
- 大企業の持つシステム統制
- 教育制度

~~セントラルキッチン~~
~~マニュアル接客~~
~~店舗夫型化~~



地域に賑わいを取り戻す

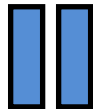
他社

・他社は高い家賃比率を賄うために、原価を徹底的に抑制する



・他社は家賃が高いエリアに大規模店を出店している場合が多く、固定費たる家賃比率が10%を超過

10%超



集客力が弱まり、坪当たり売上が低下することで効率的な利益の獲得ができない

低利益率

売上高	
売上原価	
<hr/>	
売上総利益	
・	
・	
地代家賃	
・	
・	
<hr/>	
販管費	
<hr/>	
営業利益	
<hr/> <hr/>	

当社

・当社は家賃比率を抑制した分を原価にコストをかけて良い商材を使い、お値打ち感を高めている



・当社は戦略的に1.5等地、2等地に中小規模店を出店し、固定費たる家賃比率を7%台に抑制

7%台



顧客満足度の高い料理を提供し集客することで、坪当たり売上が高め、効率的に利益を獲得している

高利益率

■田舎戦略の潜在市場規模は**2,777億円**

潜在市場規模（当社調べ）

2020年3月末現在

	関東（※1）			中部	関西（※2）		山陽（※2）	九州	合計
乗降客約6千人以上の駅数	1,405駅			210駅	712駅		52駅	123駅	2,502駅
①出店可能店舗数	3,025店			288店	1,103店		63店	149店	4,628店
②平均年間売上高	6,000万円								
想定最大売上高（=①×②）	1,815億円			173億円	661億円		38億円	90億円	2,777億円
③2020年3月期店舗数	115店			53店	84店		25店	66店	343店
出店余地（=①-③）	2,910店			235店	1,019店		38店	83店	4,285店
500店舗構想	関東第一	関東第二	関東静岡	中部	関西第一	関西第二	山陽	九州	合計
今後の出店計画									157店
500店構想店舗計画	50店	90店	25店	75店	80店	45店	50店	85店	500店
500店構想売上高目標	30億円	54億円	15億円	45億円	48億円	27億円	30億円	51億円	300億円

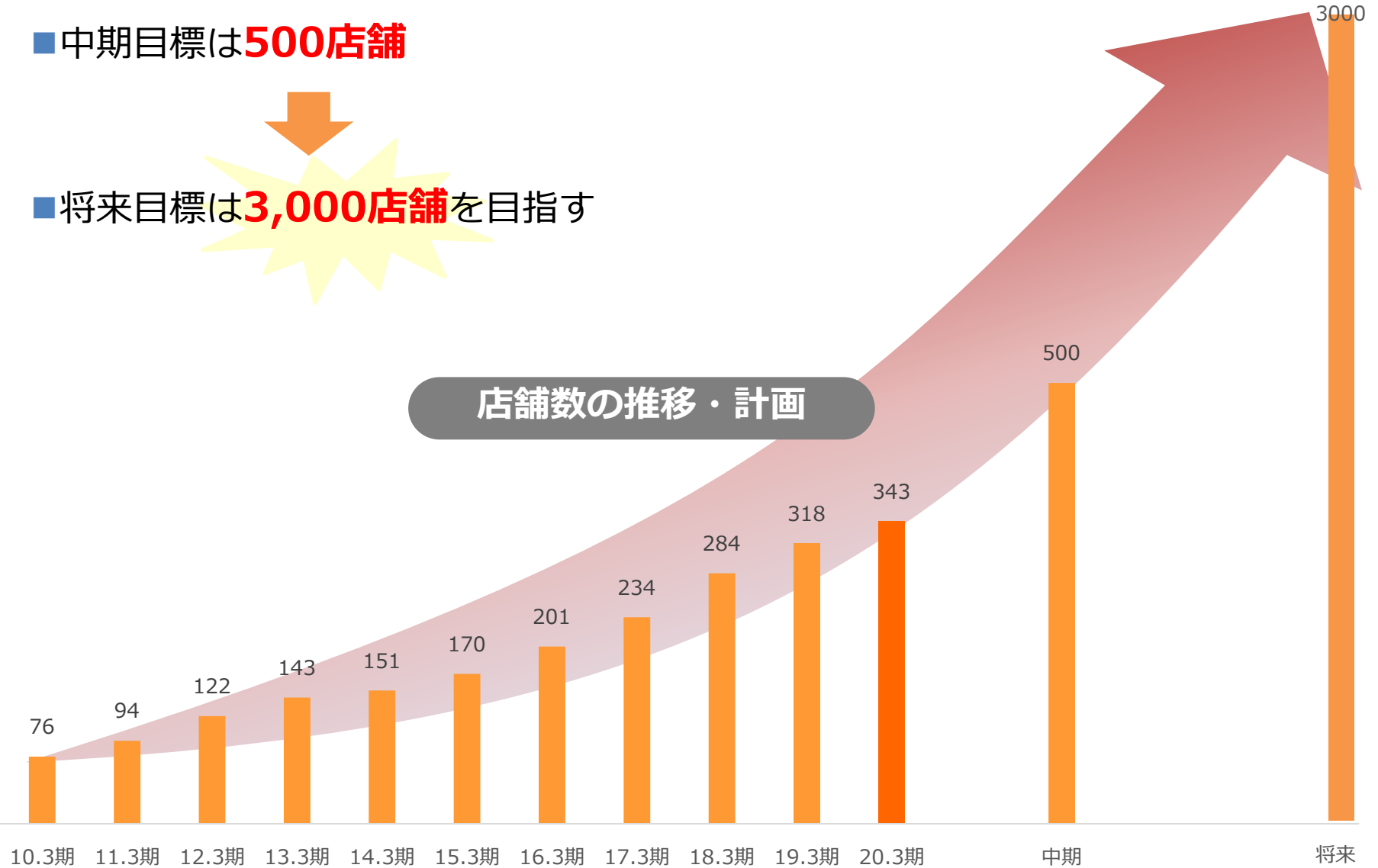
※1 関東には、関東第一事業部、関東第二事業部及び関東静岡事業部を含む。

※2 関西には香川県、徳島県、高知県、山陽には愛媛県を含む。

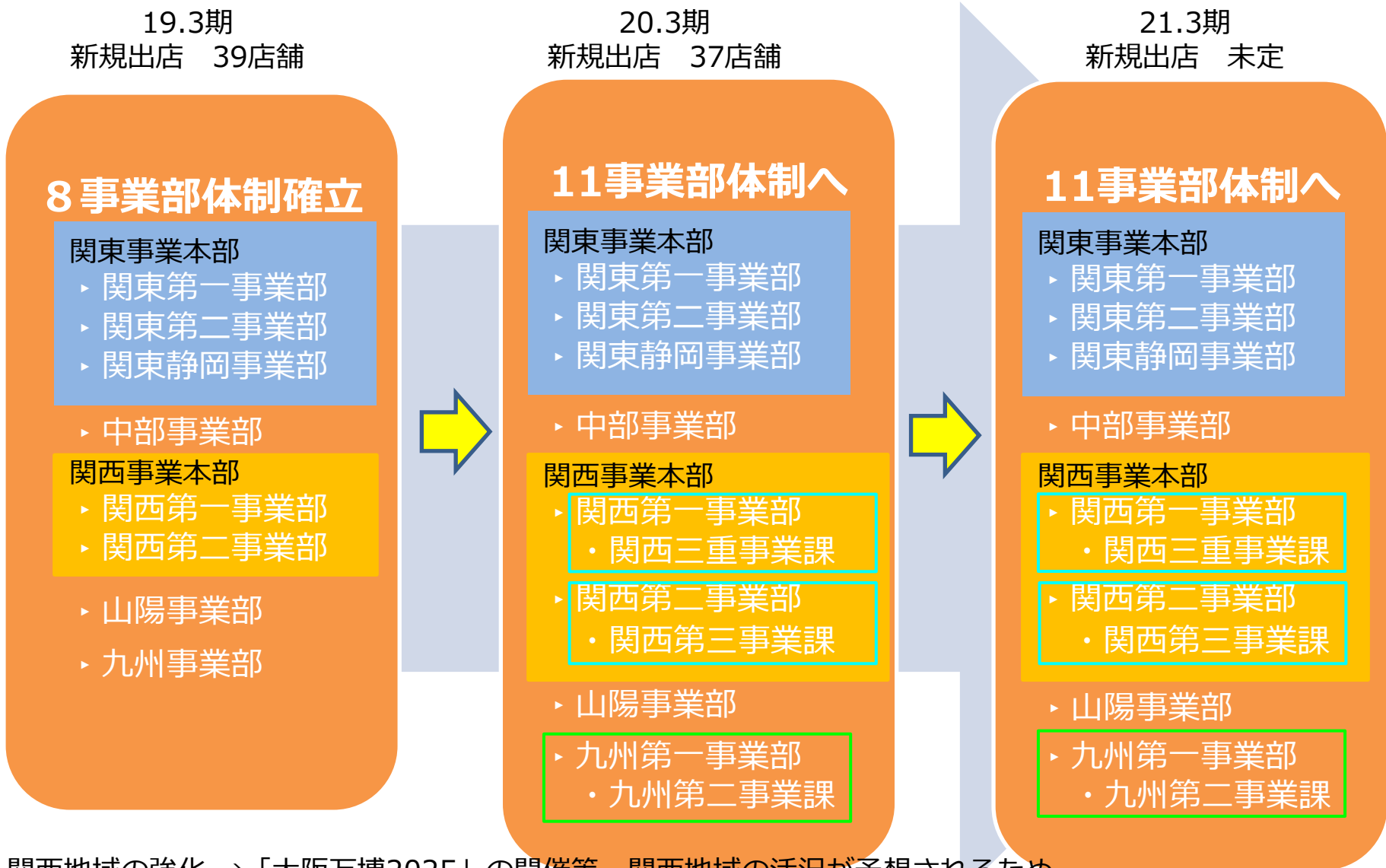
■中期目標は**500店舗**

■将来目標は**3,000店舗**を目指す

店舗数の推移・計画

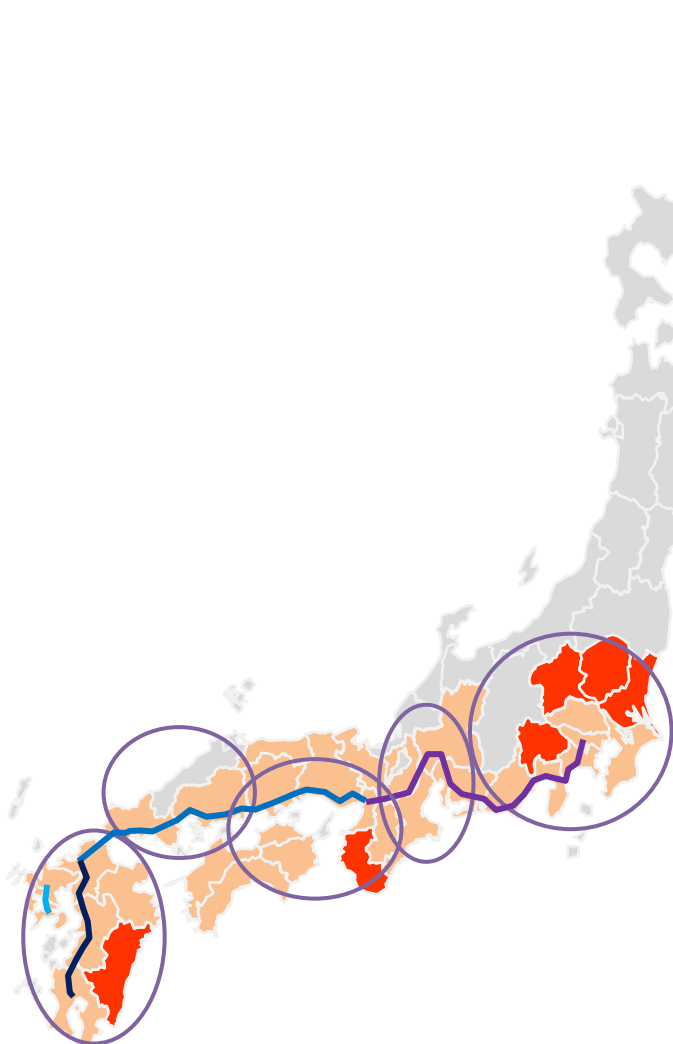


500店舗体制への構築①（11事業部体制へ）



関西地域の強化 → 「大阪万博2025」の開催等、関西地域の活況が予想されるため
九州地域の強化 → 東アジアの近隣諸国と近くインバウンド需要が見込まれるため

500店舗体制への構築②（11事業部体制へ）



19.3期

●関東事業本部	100店舗
●中部事業部	54店舗
●関西事業本部	78店舗
●山陽事業部	24店舗
●九州事業部	62店舗

中期

●関東事業本部	165店舗
●中部事業部	75店舗
●関西事業本部	125店舗
●山陽事業部	50店舗
●九州事業部	85店舗

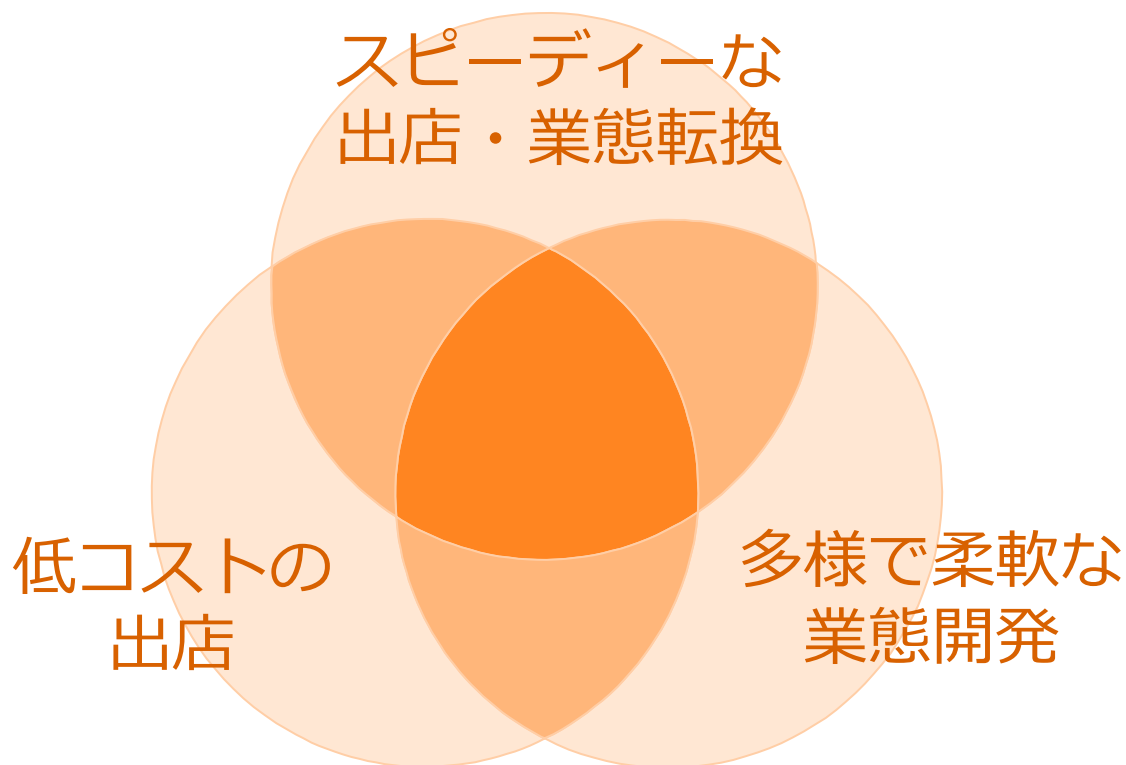
■ **地域バランス**を重視した出店エリアの拡大

■ **主力業態の強化、新業態の開発**

(注) ■ は今後展開予定の地域となります(茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・和歌山県・宮崎県)。

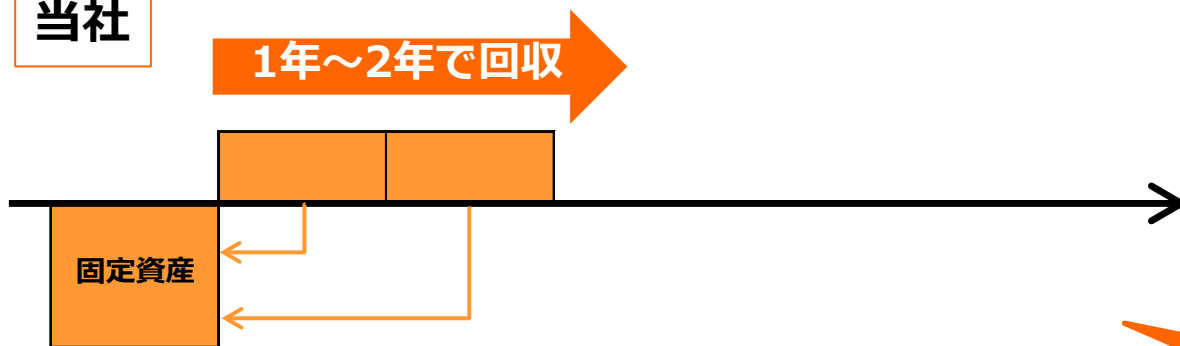
飲食店を作る為に必要な全てを**包括的**に、しかも**低コスト**で提供

業界随一の機動力



当社

1年～2年で回収



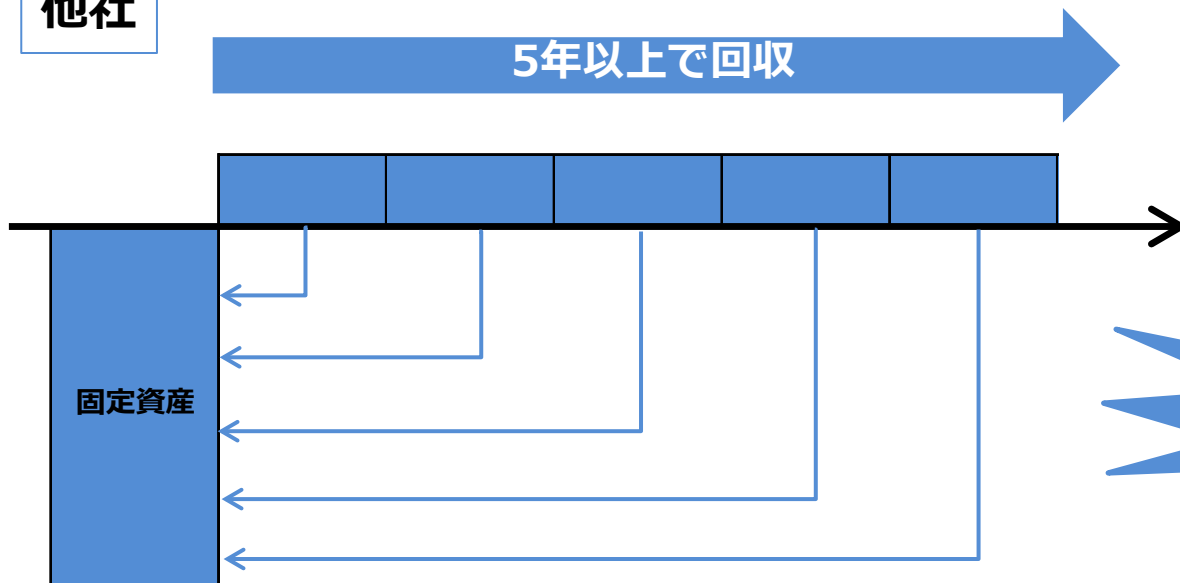
建築事業部の有効活用

- ・低コストで出店するノウハウを有しており短期間での投資回収を可能にしている

新規出店・撤退の判断を早くできる

他社

5年以上で回収



外部建築業者に発注

- ・外部業者に建築を発注するため投資コストが割高になり投資回収に時間を要する

新規出店・撤退の判断が遅くなる

全品 **280円** (税抜)

居酒屋 **にぱち**

今後、積極展開予定！

関東 1号店：にぱち福生駅西口店オープン
2号店：にぱち磐田駅前店オープン
関西 1号店：にぱち常磐町店オープン

ジャンボ焼きとり
釜めしが旨い店



「にぱち」の
セールスポイント

生ビール中ジョッキも含む
全品280円（税抜）
（一部商品除く）

ジャンボ焼きとり
釜めしが旨い店



関東地域にも「ニパチ」の良さを「にぱち」として。
「財布のひも」にやさしい業態を開発・実験中！

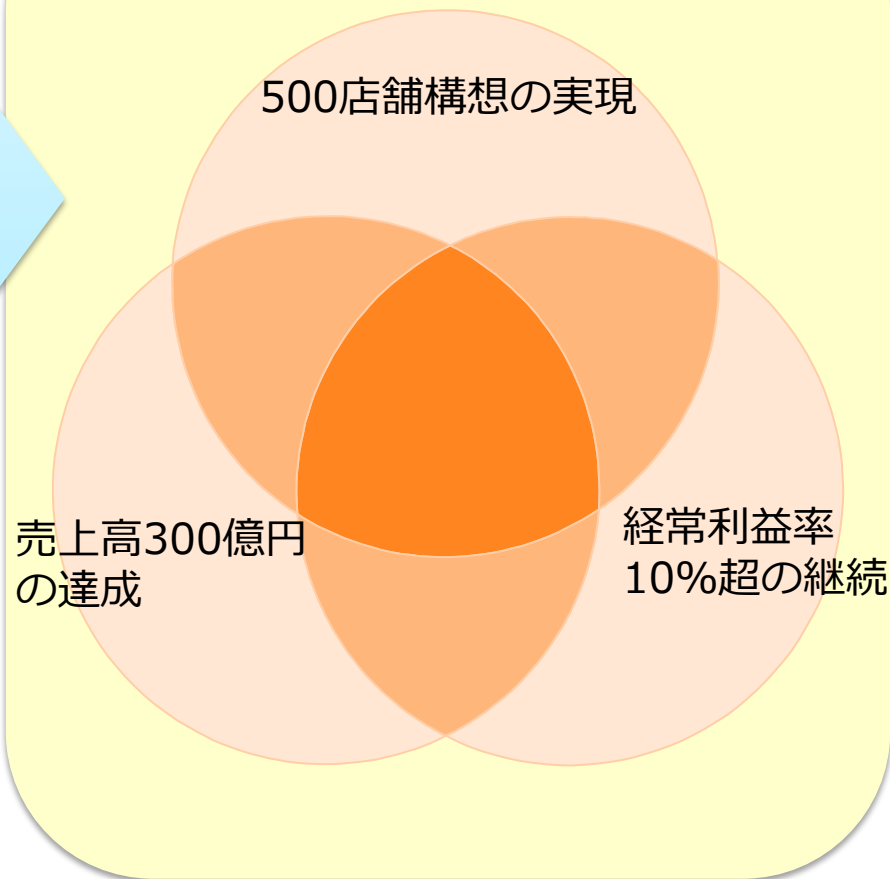
第36期スローガン

チェンジ・チャンス・チャレンジ ～「あいよ」が飛び交う店づくり～

1. 人材共育
2. 外国籍スタッフも活躍できる環境
3. 地区・チームリーダー制の確立
4. 労務管理
5. 店舗ガバナンス
6. 新業態開発と新需要への対応



株式会社ヨシックスの中期目標



第36期
利益計画・出店計画（未定）の達成

トピックス

世界的な経済紙「Forbes Asia」からアジア太平洋地域の 優良企業200社に選出。

日本の外食企業では居酒屋運営のヨシックスだけ！

～Asia's 200 Best Under A Billion～

①アジア太平洋地域の上場企業**19,000社**を抽出

(選定資格)

- ・ 10億\$未満 (約1,090億円) の売上収入があること
- ・ 純利益が黒字であること
- ・ 少なくとも1年間上場していること

②19,000社の内、優良企業**200社**を選定

(選定審査)

- ・ 過去12ヶ月及び3年間の売上成長と利益成長
- ・ 5年間のROE

日本の外食企業では
ヨシックスのみ選出

雑誌に掲載されました。

週刊ダイヤモンド 2020年1/11号

外食王ランキング **第4位**

週刊ダイヤモンド 2020年2/1号

会計&ファイナンス

・ROEランキング 第91位

(外食企業では**第1位**)

・資金繰りに余裕がある60社ランキング 第33位

(外食企業では**第3位**)

知って得する株主優待2020年版



(発行/野村インベスター・リレーションズ株式会社)

【ご注意事項】

本資料に記載された株式会社ヨシックスの計画・予想・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、資料作成時点に入手可能な情報及び株式会社ヨシックスの経営者の判断に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。実際の業績は、経済動向、市場環境等によりこれらの計画、予想数値と大きく異なる場合がございます。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また本資料は株主、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

【お問合せ先】

株式会社ヨシックス
経営企画室

TEL : 052-932-8431 FAX : 052-932-8433

〒461-0023 名古屋市東区徳川町502番地

URL : <http://yossix.co.jp/>